

2015年10月20日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

11月の「介護の日」に向けて 各務原市・学びの森で 学生がバラの花を贈り啓発活動

中部学院大学（学長 古田 善伯）ならびに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）は、11月11日の「介護の日」に向けて、身の回りで介護をしている方へ感謝の言葉を添えて、バラの花を贈る運動を展開しています。

このキャンペーンは学生を中心として毎年行っており、今回で8年目。今年も岐阜県福祉・介護人材確保対策助成事業の助成を受け、介護の日の啓発活動を展開します。

今回は、11月3日（火）に各務原市の学びの森などで開催される「学びの森フェスティバル」の会場で、学生によるバラの花を贈る運動など、学生による介護の日の普及活動を予定しています。また、本学が介護現場や高校生に呼びかけて開催した「高齢者“えがお”写真コンテスト」（応募点数33点）の表彰式も行います。この写真コンテストは、介護現場の魅力を広く伝えようと、介護施設や地域で生活している高齢者の笑顔をテーマに募集しました。なお、啓発活動の参加者は、本学で介護福祉士などを目指して介護を学ぶ学生や教職員約60人（うち学生50人程度）を予定しています。

記

- 日時 2015年11月3日（火）午前11時～午後1時
- 場所 各務原市・学びの森ほか
- 参加者 中部学院大学短期大学部 社会福祉学科1年生など約60名（教職員含む）
- 企画 中部学院「介護の日」普及委員会
- 主催 中部学院大学、中部学院大学短期大学部
- 後援 岐阜県（予定）、岐阜県社会福祉協議会（予定）

【経緯】

中部学院大学・同短期大学部では、介護の日に、身の回りで「介護」をしている方に感謝の言葉を添えて、バラの花を贈る運動を提唱しています。介護をしているご家族、介護でお世話になっている介護職の方など、日ごろから介護で頑張っている方々に、バラの花とともに感謝の言葉とエールを送りたいと思います。「介護の日」が「母の日」や「バレンタインデー」のように、人々の間に浸透していくことを願っています。介護の日を通じて、家族や社会の絆を深め、優しい社会を築くきっかけになってほしいと考えています。

【募金活動（学内外で実施）】

11月3日（火）学びの森ほか

※寄付金は、介護者に贈るバラの購入代などにあてます。

【介護の日】

介護についての理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者および介護家族を支援するとともに、それらの方々とその取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進するため、国は、2008年から毎年11月11日を「介護の日」と決めました。

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学短期大学部 社会福祉学科 吉川 杉生 学科長（教授）

TEL:0575-24-2211（関キャンパス） Mail : yoshi@chubu-gu.ac.jp